

0555

第五編

房官臣大	課局務主	決 裁		大臣	件 名	受 領
了結	出程	①		馬	伍第一六九年ノ	修多軍
明治 年 三月十七日	明治 年 九月十九日	明治 年 九月十九日			パスト病院建設抗議ニ関ス件	陸軍被服廠
長 局 帶 聯	主務局長	參事官	次官		應 名	
①	①		①		陸軍被服廠	
長 課 帶 聯	主務課長	高級副官	主 計			
①	①	①	①			
者 記 筆 案 寮	主務課員					
①	①					

修多軍
陸軍被服廠

陸軍

次官より東京府知事、與會按
 今般東京市に於て本所遊病院
 あり、下す上し病室建設、計画画
 了、陸軍進築地、実地了了
 七し趣旨及結果し了、此の陸
 橋地録系町陸軍用地に陸
 軍被服廠及兵器本廠、倉庫
 及び之右倉庫、各軍隊、補
 給所、軍用品、貯蔵所、衛生
 二休養し病室、之、添ふん力如キ
 トアルに於て、其、各軍隊、及亦

此の如く一たび降言ヲ曉生るにノ慮
 有之由固より病院建設ノ執手ニ
 防疫ノおきノ設備等ノ之より
 少く告病毒ノ他ノ汚染病ノ異り
 鼠類ノ媒介ノ他ノ汚染病ノ異り
 仕右等ノ病院ニ他ノ高当ノ地ヲ撰
 定せらるルノ概致等及此處ニ由ル也

送甲第五八號

九月十九日

醫 學 部



0558



被普第一〇四九號
九月十八日

被普第一〇四九號

本所區ニペスト病院建設ノ計畫ニ付申出

聞ク所ニ依ルハ今面東京市ニ於テ豫美金三万二千円ヲ以テ本所區
本所病院構内ニペスト病室建設ノ計畫アリ市衛生常設委員會
及土木常設委員會等ノ決議ヲ經テ已ニ建築地ノ實測ヲ了シタリト
右計畫ハ全軍ニ對テ貯藏被服ノ保險上ト全軍ノ衛生上ニ至大ノ關係
ヲ有スルモノト存候間至急排除ノ御抗議相成度意見申出候也

理由

一 既往ト現今ノ實況

一 昨年本所押上町ニペスト發生シタル場合

病毒發生地ハ當

廠ト比較的遠隔セシ拘ラヌ尚貯藏品ヲ赤羽倉庫ニ移シタリ一方ハ

萬一ノ顧慮シ各師團ニ近用品若干ツ、豫託シ以テ給與上ノ支障ヲ除キ病毒ヲ軍隊ニ移サ、ルノ處置ヲ取リタリ

本年深川本所西區ニ發生以後ノ實況 全軍ノ給與ニ支障ヲ

來サニコトノ恐ヒアリシト送出品ニ病根ヲ附着シ全軍ニ病毒ヲ移ス

ノ恐ヒアリシトニ依リ多額ノ費用ヲ以テ貯藏物品ヲ宇品大阪赤羽其

他ノ倉庫ニ移轉セリ一方ニ廠内ニ檢疫所ヲ設ケ醫官ノ増派ヲ

乞ヒ今日ニ至ルモ尚日々二回ノ嚴重ナル健康診断ヲ續行シ居

リ之カ爲メ本所區ノ勞力及作業力利用上等ニ不少影響ヲ受ケ

タリ單ニ當廠附近ニ病毒發生セルモノニ對スル影響音如斯

ニ將來起ルヘキ影響音

計畫地ニ病院ヲ建設シ全市ノ病者ヲ收容スルトキハ道路ノ関

係上諸方ヨリ來ル患者ハ何レモ當廠附近ニ於テ落合ヒ日々入送
 出ル物品ハ收容患者ノ運搬ト途上ニ於テ相接觸シ病毒ヲ軍
 隊及當廠ニ移入スルニ至ルヤ必セリ果シテ然ルトキハ本所ニ病毒ノ本
 源地ト化シ終ル結局被服廠ハ自衛上他ニ移轉ノ必要ヲ見ルニ
 至ラン殊ニ錦糸堀倉庫ノ如キハ新計畫地ト殆ト接近ノ地莫ニ
 アリ

之ヲ要スルニ本計畫画ヲ排除スヘキハ勿論現在ノ病院モ之ヲ他ニ
 移轉セシムルノ御詮議ヲ必要ト認メ候

明治三十八年九月十七日

陸軍被服廠長 矢野正躬



1990

陸軍大臣寺内正毅殿

陸軍大臣

東京市常ノ設計

今回東京市病院構内ニハスト病室廿
 八枚有リモノヲ建築スルニ計畫ニ
 之ヲ已メ東京市衛生常設委員會及
 土木常設委員會ニ於テ之の決メ
 地此處建築新築美觀萬部千圓也トス

東京

大正區役所

ペスト病院新築計畫廢除并本所病院
移轉之関スル建議書

今回本市ニ於テ本所病院構内ニペスト病院ヲ新
築セラレントスルノ計畫アリテ已ニ其建築地ノ實
測ヲ了セラレタリト果シテ事實ナリトセンカ本區
會ハ本區公安保全ノ爲メ極力之カ計畫廢除并
本病院移轉ノ舉ニ出ラレントラ建言セザルベ
カラス

抑モ我カ本所區現時ノ狀態ハ本病院創建當時
タル明治十三四年頃ノ如キ各所ニ空地ヲ存セス一般
事業ノ發達セルハ勿論工業ノ如キハ本市拾五區
中有數ノ地ヲ以テ目セラレ人家ハ増々稠密ニ人口
拾五万以上ヲ有シ加フルニ道路ノ擴築等實ニ土

地拔隘ノ感ナキ能ハサル之至レリ就中本病院所在
 地方ハ将来本區ノ發展ニ伴ヒテ工業ノ中心点ト
 ナルハ明瞭ナリ況ニヤ其附近ハ我カ軍隊ノ通路ト
 當リ亦陸軍倉庫ノアルアリ本病院ノ存立セル以
 上ハ工業上商業上甚ナカラガル影響ヲ被リ終ニ
 人ロノ減退シ来タニ地價低落生産力ノ衰頽
 等其他之類之障害ノ及ボス處最モ大ナル之至ラン
 トス實ニ憂慮措ク能ハサルナリ此ニ於テカ全區民
 ハ常ニ唱道シテ本病院ノ移轉ヲ宿望スル所ナリ
 而モ本病院所在地ハ卑濕最モ甚シク患者收容
 所ノ如キ特ニ高燥ノ地ヲ要スヘキモノヲ建造スヘキ
 場所ニアラガルハ素ヨリナリ況レバ猛烈最モ恐ルヘキ傳
 染病タルペストナル之於テオヤ状況斯ノ如クナルラステ

本市ノ當局諸氏ハ宜シク本區ノ趨勢ヲ鑑ミ本病
 院ノ如キハ疾ク之ヲ撤去シ直接利害ヲ有スヘキ全
 區民ヲシテ各其職ニ安ンゼシメラレンコトヲ期スルハ
 治政上適切ノ處置ナルベキト思料セリ然ルニ尚
 クカ如クンバ事此ニ出スレテ却テ本病院構内ニ
 特ニペスト病院新設ノ舉アリトハ豈ニ驚愕ノ寒
 心セザルヲ得ンヤ真ニ事實トセバ本市ノ方針ハ
 全ク本區民ノ輿論ニ及スルモノニシテ強テ之ヲ遂
 行セラル、於テハ如何ナル椿事ヲ惹キ起スニ至ル
 ヤ知ルベカラズ甚タ以テ憂慮ニ耐ハガル次第ナリ故
 ニ本市百年ノ長計ヲ全フセラレンニハ此際斷然
 タル處決ヲ以テ本區内ニ於テハ本新築ノ舉ヲ廢
 除セラル、ハ勿論本病院モ亦他地方ニ移轉シ以テ

我カ本所區之病院、跡ヲ斷絶セシメラレニコトヲ希
フ所以ナリ
左ノ本所區會滿場一致ノ決議ヲ以テ茲ニ謹テ建議
ス

明治三十八年九月十五日

東京市本所區會議長 鈴木亮藏

東京市參事會

東京市長 尾崎行雄 殿

ルモハスト煮者 取お上完全金ヲ胡シ進キ
 ニヨリ今回計々ニ相南ニル病の金ヲ
 糸シ又ニ取切上おの金ヲ期スル計進
 ニ出テタル儀ニありま之小東亦取ニ成リ了不
 成出及回今少也
 明治三十二年十一月了
 赤坂村東ノ里野子家子
 陸軍少佐石中村トウ
